



# 国府小だより

第7号

令和3年6月28日



## 「自分の考えを伝える」

## 授業で取り組んでいます

新学習指導要領が施行されて2年目となりました。新しい時代に必要となる資質・能力の育成で重要とされるのが「学びを人生や社会に生かそうとする**学びに向かう力・人間性**」「生きて働く**知識・技能の習得**」「未知の状況にも対応できる**思考力・判断力・表現力等の育成**」の3つの柱です。どの資質・能力の育成も短時間でついていくものではなく、日々の積み重ねで身に付けていくものです。そのことを踏まえても日々の授業へ取り組む姿勢や意欲が重要となっていきます。

先日、1年生の授業を参観に行くと国語の授業でした。子どもたちがペアを組み、正しい文章を使って聞きやすい大きさの声で、一人が質問をして、もう一人が説明したい場所を指示しながらその質問に答えるという発表をしていました。こうして、基本の形を1年生でしっかり身に付け、話し方を学んでいます。A組では、理由を伝えるときの話型を学んでいました。



1年B組の発表様子

1年A組の黒板



そして、朝の準備も決められた時間内にできるようになってきました。ランドセルの中のものを引き出しに納め、次の日の連絡帳を書いています。少しずつ落ち着いた空気の中で授業が始まっていくようになってきました。

この後、図書館に行ったり朝顔の水やりをやりに行ったりしています。



## 5年生理科「人のたんじょう」

6月10日（木）15日（火）に5年生が理科の学習にある「人のたんじょう」という単元で、命の学習をしました。養護の先生をゲストティーチャーとして、命の始まりから誕生までの様子について話を聞きました。命の始まりは、0.1mmほどの大きさだったことを聞き、大きく驚きの声が上がりました。そして、誕生までの成長の様子を学びました。みんな真剣に話を聞いていました。自分の命、友達の命が誕生したことが、奇跡のような確率であったことも知りました。生まれたばかりの体重、身長の赤ちゃん人形を、抱く体験もしました。コロナ禍の今、命について学ぶことは、とても重要な学習です。子どもたちにとって、大切な機会となりました。



0.1mmの大きさを確認しています。



## なかよし授業の様子

なかよし学級では、在籍する児童に合わせて、学年の教室で授業を受けたり、なかよしの教室に来て個に応じた学習内容をじっくり取組んだりしています。これは、なかよし学級での授業の様子です。この日は低学年が学んでいました。どの子どもも集中して取組んでいます。いま、低学年は、国語と算数をなかよしの教室にきて、学習しています。

